

日本農業史学会

個別報告

2025年研究報告会

■ 9:00～9:05 会長あいさつ

■ 第1報告:9:05～9:55 玉 真之介 (帝京大学)
冷戦下、地主運動の統一・隆盛・分裂・再統一

■ 第2報告:9:55～10:45 畑岡 孝哉 (京都大学大学院)
A. D. テーアのツェレ農場とメークリン農場の比較
—土壌に着目して—

■ 第3報告:10:45～11:35 渡部 昌平 (京都大学大学院)
写本『会津農書 全』の分析と他写本との比較

■ 第4報告:11:35～12:25 清代ひとみ (東京農工大学大学院)
戦後日本における葉たばこ栽培の変遷と衰退—神奈川県秦野市を事例として—

日本大学
湘南キャンパス
生物資源科学部
10号館第4講義室

シンポジウム 13:30～17:15

農業生産のジェンダー史

座長:岩島 史(京都大学)、司会:藤原辰史(京都大学)

非会員の方でオンライン参加希望の方は下記学会事務局までお問い合わせください。関連情報をお伝えします。

■ 第1報告:植民地朝鮮「農村男子青年」のポリティクスとジレンマ
—1930年代の農業生産と戦時動員、その表象をめぐって—
小谷 稔 (日本学術振興会・東京大学)

■ 第2報告:戦没者世帯における農家経営:農地改革と小作地引き上げ
五十嵐英梨香 (一橋大学)

■ 第3報告:標高1300mの労働争議:戦後高冷地季節雇の抵抗とジェンダー化
飯田悠哉 (愛媛大学)

コメンテーター:小島庸平 (東京大学)、都留俊太郎 (中央研究院台湾史研究所)

総会 17:30～18:00

3月28日(金) 対面開催
(シンポジウムのみ
Zoom中継あり)

問合せ:日本農業史学会事務局

tel:075-753-6185 fax:075-753-6191 mail:office@agrarian-history.sakura.ne.jp